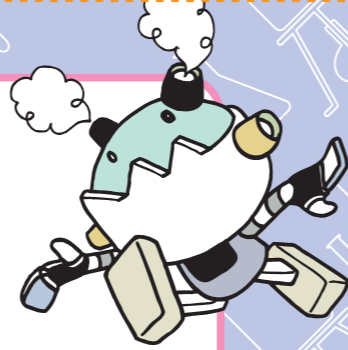


ゆき ふ 雪を降らせてみよう!



コップの中で食塩の雪を降らせる実験です。食塩を溶けるだけ溶かした食塩水にエタノールを加えると、白い雪のようなものが降ってきます。

実験中は、近くで火を使うのはやめましょう。

実験は必ず大人と一緒に行ってください。

開成中学校・高等学校
宮本 一弘

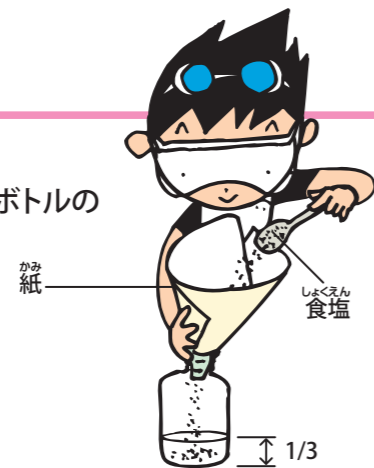
準備するもの

- じゅんび 準備するもの
- Salt
- コップ (無色透明なもの)
- 350mLのペットボトル
- かみ紙
- スプーン
- わりばし
- みず水
- *無水エタノール

*無水エタノール
薬局で購入できます
消毒用エタノールは使わないようにしましょう!

じっけんほうほう 実験方法

1 食塩を350mLのペットボトルの1/3くらい入れる



紙をロートのようにつかべんにして使うと便利です

2 水をペットボトルの8分目まで入れ、ふたを閉めて3分くらいよく振る



よく振って出来るだけ食塩を溶かすのがコツです。しばらくすると、食塩が下に1~2cm溶け残ります

3 実験方法2で作った食塩水を、コップの7分目まで入れる



ペットボトルの下に溶け残っている食塩は、コップに入れないようにしましょう!

4 無水エタノールを、わりばしにつたわせてコップの9分目まで少しずつ入れる



5 少し待つと、食塩水とエタノールの境目あたりから、食塩の雪が降ってきます



もしも、食塩の雪が降ってこなかったら、わりばしで、エタノールと水の境目を5~6回素早くかき混ぜましょう!



実験が終わったら、コップの中の食塩水とエタノールは流しに捨ててください



じっけんかいせつ 実験の解説

実験方法2の食塩を水に溶けるだけ溶かした水溶液を飽和食塩水といいます。飽和食塩水にエタノールを加えると、境目のところでは食塩が水に溶けていられなくなって、白色の固体と出てきます。これが雪のように見えたのです。